

中核市として元気な市民自治の確立を目指します

中核市の具体的なメリットは何か、多くの市民と共有できる将来像を示すことが必要と考える。本市が目指す中核市とはどのようなものか。

また、高崎市のもつ優位性や潜在力をアピールすることも必要である。今後の都市のブランド力や将来像をどのように描いているのか。

(2010年9月議会より)

⇒

本市が全国で41番目の中核市となる。地方分権の担い手として特色あるまちづくりの実現、地域主権を目指したい。

市民に身近なところで、きめ細かな充実した行政サービスが実現し、存在感が増すと考える。活力あるまちづくりを目指し、集客交流人口の拡大につなげ躍進していきたい。

次世代に向けた集客力のある都市づくりが必要！

今後の都市間競争において、どのような施策をもって集客都市を目指すかが重要であると認識している。施設整備だけでなくソフト面においても次世代に向けた整備推進の状況は。

また、交通拠点性や都市資源を活用した都市戦略が本市の将来像に影響を与えると考えるが、どのような都市づくりに取り組んでいるのか。

(2011年3月議会より)

⇒

2時間圏の交流人口は北関東自動車道の全線開通や北陸新幹線の金沢延伸により4,600万人になる。一方、通過都市になる危機感も認識し、

『高崎都市集客戦略ビジョン』を策定、本市全域を集客都市と位置づけている。高崎駅周辺整備の充実で都市全体のグレードが引き上げられ存在感のある都市として発信したい。

都市機能や市民力を活かし、官民双方が役割を担いながら有機的に結びつき、都市の資源として英知を結集して中核市としてのまちづくりに全力を尽くします。

高崎市長・市議会議員 選挙は、

4月24日(日) 投票日です。

*期日前投票が4月18日から23日まで市役所でできます。

初心を忘れず、何事にも熱意をもって必ず実行！一生懸命頑張ります！！

みなお通信

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

高崎市議会議員 高橋美奈雄

高崎の未来に情熱と夢を持って！ ～地域力と市民力を活かした元気なまちづくりを～

皆様の温かいご支援をいただき、平成11年4月に高崎市議会に送り出させていただいてから3期12年。「安心でやすらぎのあるまち」・「すこやかで元気に暮らせるまち」・「環境や都市基盤の整備された住みよいまち」の実現に向けて努力・実行してまいりました。

これからも住民ニーズを的確に捉え、皆様と同じ目線で地域を見つめ、声を届けていきます。「安心・安全な中核市」を目指し、全力投球で行動してまいります。

危機管理と防災計画の再確認で

頼れる地域社会の実現を

災害の被害が少ないと考えられていた本市においても3月11日の東日本大震災によりさまざまな影響が出ています。被災地の復興に協力するとともに、過去の災害時の教訓を活かしながら、私たちももう一度危機管理について考えてみませんか。

過去の災害経験から初動体制の確立と情報が大切であると考え。災害派遣からどのようなことを防災対策に生かしているのか。

また、改めて自主防災組織の重要性も認識したが、状況は。

(2007年9月議会より)

避難場所に届けられる支援物資の取扱いについて、避難場所に格差が生じないように防災活動におけるリーダーの育成も必要と考え、組織化に努めている。地域コミュニティの再生とともに町内ごとに自主防災組織が結成されている。

⇒



「自分たちのまちは地域で守ろう！！」

たくましい心と生きがいの持てる教育を推進します

「教育の主役は子どもたち」であるという考えは不変であるが、新年度から小学校で全面実施（中学校は24年度）される学習指導要領の改訂に伴う本市の対応は。
(2010年6月議会より)



生涯学び続け、心豊かにたくましく生き抜く子ども像を目標に、学校、家庭、地域が今まで以上に連携・協力して生きる力を育成したい。
教員が自信を持って取り組み、子どもと向き合う時間の確保や負担軽減に努めている。

東部小学校などの大規模校では、教室が不足し特別教室等を使用して学級数を確保している。
教育の一定水準を平等に確保するためにも早急な施設整備が求められているが具体的な見解を。
(2010年6月議会より)



今後の児童数の増加に際しては、これ以上の特別教室の活用は難しいものと考え、喫緊課題にする措置として仮設プレハブリースによる増設で対応していきたい。教育環境の充実を図るうえで、施設整備は必要不可欠と認識している。

教室不足解消へ！！

2010年9月の補正予算で仮設校舎の借上料が追加計上され、校庭東側にプレハブ教室が設置されました。

子育て支援を推進し、

思いやりと支えあいで福祉の充実を！

働く女性が安心して子育てできる環境づくりが重要である。保護者のニーズに合わせた施設選択が必要であるが、地域差のある待機児童解消に向けどのように取り組むのか。
(2008年3月議会より)



公私立保育所の施設整備等地域の保育に対応するとともに認定こども園や隣接地域の保育所利用の促進を図っていきたい。

★子どもの医療費助成の拡大

2009年10月から小学校3年生までの通院医療費助成が中学3年生まで拡大されました。

交通拠点都市として都市機能を活かした

住みやすいまちづくりを推進します

地域住民・行政・企業の連携で活力ある都市づくりを実行

高崎駅を中心に交通拠点性を確立し、機能的で利用しやすい公共交通を活かした拠点整備を推進していく中で、駅東口地区の整備方針における見解は。



環状線までの地区計画やコンベンション機能など都市機能の充実が図られる計画策定に向け研究していきたい。

駅を中心とした基盤整備を考えたとき、井野駅の整備について今後どのように考えるか。
(2007年12月議会より)



井野駅は、市内7駅の中でも利用度が高く、都市づくりの観点からも重要な位置づけがされ、交通バリアフリー法による基本構想策定予定駅である。

自然と共生した農業の活性化と

地域資源を活かした着地型観光の創造を目指します

地産地消、食育などの視点からも農業政策の展開を図ることが重要である。農業は文化であるという理念をどのように活かしていくのか。(2008年3月議会より)



合併のメリットを活かし、地域の食材を大切に持続性のある生産・加工による食文化や食料自給圏形成を目指したい。

いよいよ本番、群馬デスティネーションキャンペーン！(2011年3月議会)

本年7月～9月に行われるデスティネーションキャンペーン(DC)に向けて準備が進められているが、どのような戦略を考えているか。また、群馬県の玄関口に相応しい体制づくりへの取り組みは。



広域的視野に立った事業展開に取り組み、一過性のものに終わらせることなく、更なる観光振興につなげていきたい。県やJR高崎駅と協力して体制づくりをし、2次交通の整備を推進したい。